

公表

事業所における自己評価総括表

○事業所名	child hands 豊川(放課後等デイサービス)		
○保護者評価実施期間	令和7年 2月 3日		～ 令和7年 2月28 日
○保護者評価有効回答数	(対象者数)	19	(回答者数) 19
○従業者評価実施期間	令和7年 2月 3日		～ 令和7年 2月 7日
○従業者評価有効回答数	(対象者数)	6	(回答者数) 6
○事業者向け自己評価表作成日	令和7年 3月 1日		

○ 分析結果

	事業所の強み(※)だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	【学習特化型】定期的に職員がLD/ADHDの研修を受け、様々な方法で学習に取り組めるようスキルアップを図っている。	研修を受けた職員が他の職員に共有して、児童個別のやり方で課題に取り組めるよう工夫している。施設で取り組んでいる方法は保護者に伝え家庭との連携を図っている。	児童の学習に対する苦手を失くす為に、学校関係者、家庭とも連携を図っていく。
2	【集団活動】「静」と「動」のバラエティに富んだ活動を取り入れる。市が取り組んでいる「家読」と「アールブリュット参加」は必須活動として組み込む。	「静」の活動では離席を失くし集中できるような工夫をし、行動療法を行うことで、学校の授業も着席できることを目指している。	児童の個性を伸ばすような活動を増やす。芸術作品(アールブリュット)家読(豆本作り)は環境を整え、活動の後押しをする。
3	【保護者】LINEやSNSを通して利用家庭だけでなく、その他の施設、関係者、保護者にも知ってもらえるよう積極的に活動を発信する、	LINE(毎日の児童の写真)インスタ(毎日の集団活動の様子)ブログ(お出かけ・イベント)と使い分けをして積極的に情報発信する。	SNSを通して知り合った他団体とも交流を深め、活動の充実を図る。

	事業所の弱み(※)だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	【家庭連携】保護者会が開かれていない。	本年度6月をメドに開催できるよう準備している。	今後は年間スケジュールなどを報告し、保護者が前もって予定を立てやすいように工夫する。
2	【地域交流】地域の交流が出来ていない。	外部との交流を図るよう務める。	地域の団体に連絡をとり、GW,長期休暇などに子ども達と交流を図れる環境を整える。今年度GWは地域避難場所になっている中条神社の清掃(氏子立ち合い)を行う予定。
3			